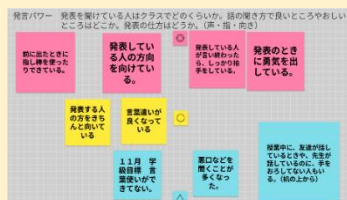


1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

学校名	矢掛町立山田小学校	実践者名	金山 隆圭
教科	学級活動	学年	5年
活用内容	学級実態把握・分析 学級での合意形成 意思決定	実践日	令和3年12月3日
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 2
単元・内容等	「学級力会議」 学級生活についてのアンケートを基に現在の学級の良い点や改善点を確認する。話し合いを通して合意形成や意思決定を行うことで、自治的な学級集団を形成する。		

活用の概要（目的・活用場面・使用アプリ名を含む）

- (1) 学級の実態について、児童自身が振り返る。
 - ・ Forms を活用し、現在の学級について8項目の観点でアンケートを入力する。
- (2) 学級力の確認
 - ・ アンケート結果が反映されスプレッドシートで作成したレーダーチャートから、前月と今月を比較し、学級の課題を確認する。
- (3) 個人振り返りタイム
 - ・ Jamboard で、それぞれの項目について学級の成果や課題について振り返る。
- (4) シェアタイム
 - ・ 個人で考えたそれぞれの項目の成果と課題について、共感するところや確認したいところを全体で話し合う。
- (5) 学級目標設定タイム
 - ・ 複数人が学級の課題と考えていることを取り上げ、学級目標を達成するためにどんなことに取り組めば良いかを話し合う。
- (6) 個人目標設定タイム
 - ・ 今月、学級力を上げるために頑張りたいことと具体的な目標を設定し、発表する。
- (7) 振り返り
 - ・ 設定した目標を基に、自分の生活について振り返る。



実践者の手ごたえ

毎月、学級の成果と課題を児童自身が分析して、翌日の目標を設定することで、「こんな学級にしたい」という児童の願いを大切にしながら、学級経営をすることができた。Jamboard は、共同編集や自由なレイアウトが可能なことから、多角的な視点での思考の交流に最適だと感じた。

児童生徒・保護者等の主な反応や声

(児童の感想から)
 「自分達で学級を振り返って、生活を見直せるので、みんなでよい学級にすることができる。」「自分達で話し合いができるようになったし、日常的にもいい行動を心掛けようと思えるようになった。」